



## 外国人目線で魅力探る

11/30 インバウンド自転車観光モニターツアー

市海外プロモーション協議会（市・市観光協会ほか）による外国人モニターツアーが行われました。当日は、中信地域に住む外国人5人が自転車観光のモニターとして参加。案内看板の分かりやすさや食事など、外国人の目線で評価しながら自転車で市内観光地を巡りました。意見交換では「自転車は気軽にあちこち立ち寄れて魅力的」という評価がある一方、「個人で巡る時には不安もある」といった課題も挙げられました。今後、外国人向けの観光案内や情報発信に活用します。

### ◀光城山の通称「昇り竜」



## 「昇り竜」守れ！桜70本植樹

11/24 光城山1000人SAKURAプロジェクト植樹

「光城山1000人SAKURAプロジェクト」では、70本の桜の苗木を光城山（912m・豊科光）に植樹しました。この活動は老木化が進む光城山の桜並木を維持するため、市民と市が協働で行っており、昨年度までに約480本を植樹しています。

当日は約90人が参加。桜が山頂まで連なる「昇り竜」がいつまでも見られることを願いながら、丁寧に植樹を行いました。

## 学生と「働き方」を考える

11/30 穂高商業高校3年生と男女共同参画講座を開催

市男女共同参画推進会議と穂高商業高校3年生が働き方について考える合同講座を穂高神社参集殿で行いました。就職・進学を控える高校生に働き方や男女共同参画の理念について考えてもらう機会として今年で2回目の開催となります。

高校生たちは、DVDを観賞してワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について学んだ後、男女共同参画推進会議会員等とともにグループに分かれ、どのように働きたいかについて、お互いの意見を尊重しながら話し合いました。最後に代表者が各班の考えをまとめて発表を行い、働き方に対する多様な考え方を学びました。

講座を終えた窪田拓真さんは「働いてお金を稼ぐだけでなく、仕事に対する意欲や私生活とのバランスが大切だと感じた。社会に出て貢献できるように、改めて働き方について考えてみたい」と話してくれました。



## ハンター×里山×食の恵み

11/17 ハンターと歩く里山

里山再生に関わる活動を行う「さとぶろ。」では、講座「ハンターと歩く里山」を長峰荘で開催しました。近年、鳥獣被害が問題となる中、里山の保全に大きな役割を担うハンターの活動を知ってもらおうと市猟友会協力のもと開かれました。当日は親子連れなど約30人が参加。猟犬を使った狩りや罠の設置の仕方などを学びました。

昼食では太田将治シェフ（ホテルアンビエント安曇野）による地元の野菜やキノコ、ジビエを使った料理が振る舞われ、参加者は里山の恵みを堪能しました。シカ肉やイノシシ肉を食べた百瀬瑞羽さん（堀金小）は「どのお肉も美味しくてびっくりした。ハンターは大切だと思った」と話してくれました。

## 文化の秋 子どもたちの表現光る

11/17 子ども文化祭

市内の小中学生や高校生がステージ発表や作品展示を行う、第4回子ども文化祭を穂高交流学習センター「みらい」で行いました。

当日は、地域で活動する10団体の子どもたちがダンスや和太鼓、落語など日頃の練習の成果を披露し、来場した保護者や地域住民を楽しませました。

ジュニアダンスおひさま隊（写真右下）は、ペアを交代しながらワルツやルンバなど8種類の競技ダンスを披露。華麗なステップや音楽と調和した踊りで会場を盛り上げました。おひさま隊の北澤華恋さん（穂高西小）は「ステージで踊るのは緊張したが、楽しく踊ることができた」と笑顔で話してくれました。おひさま隊は、10月に軽井沢町で行われた第46回県ダンススポーツ大会に出場。ペアを交代しながら3部門で優勝を果たし、出場した5人全員が金メダルを獲得しています。



## 日々の生活に潤いを

11/22～25 老人クラブ連合会芸能大会・作品展

市老人クラブ連合会が主催する芸能大会と作品展が豊科公民館で開催されました。

作品展では、会員170人が制作した工芸品や絵画・写真など260点が展示され、来館者は創意工夫を凝らした作品をじっくりと鑑賞していました。

芸能大会では、22団体によるステージ発表が行われ、熟練された踊りや息の合った演奏などに会場からは大きな拍手が送られていました。